

科目名	生化学実習 (Practice in Biochemistry)			科目コード	403
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (45時間)
科目区分	専門基礎科目	履修時期	2 年次前期	関連DP	臨③
担当教員	檜枝 美紀、伊藤 晃、細川 翔				
授業概要	1 物質の定性・定量について学ぶ。 2 物質の分離・検出について学ぶ。 3 酵素反応について学ぶ。				
授業目標	生化学の講義で得た知識をより深く理解するために、実習を通して、生体成分の基本的な定性反応、定量法、分離法、検出法などを学ぶ。また、生体の化学反応はほとんどが酵素によって触媒されているため、基礎的な酵素反応の実習を行い、酵素についての知識を深めることを目標とする。				

授業内容

回	項 目	内 容
1～2	オリエンテーション	実習内容の説明と実験器具・実験機器の扱い方
3～23	① 糖の定性反応 ② アミノ酸・タンパク質の定性反応 ③ タンパク質の分離・定量 ④ タンパク質の検出 ⑤ 酵素活性測定的基础 ⑥ 酵素の反応速度論 ⑦ 酵素の阻害	<ul style="list-style-type: none"> ● 左記①から⑦の実習項目で実習を行う ● 第1回のオリエンテーション時に、各実習の内容・手順を示した実習書を配布する
成績評価方法	実習ごとに提出するレポートによる評価および、実習への取り組みの積極性で評価する	
教科書	配付するプリント	
参考図書		
授業時間外の学習について		
関連科目		
備 考	実習書を前もって熟読することを求める	

(24カリ) 専門基礎科目